

住者92人。平成12年5月に策定した小郡市国際化プランに基づき、市民の国際交流活動への支援を初め、ボランティア登録制度等様々な施策を実施しています。外国人と一緒に外国の料理をつくったり、外国の歌や踊りを楽しむなどの国際交流を通じて、国際理解を深めることを目的に幼稚園、小、中学校等に外国人を派遣する事業等を行っています。また、外国人のための日本語教室、国際理解推進のための世界の家庭料理教室や国際理解講座講演会を市の委託事業で共同実施しました。

小郡市議会会議録の閲覧ができます。

小郡市のホームページから、平成18年5月以降の小郡市議会会議録が閲覧できます。

平成23年9月定例会の会議録は、11月下旬頃から閲覧できる予定です。



常任委員会審査報告

総務文教常任委員会報告

総務文教常任委員会は、9月12日に開催され、付託を受けた執行部提出議案4件（分割付託1件を含む）及び請願1件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

小郡市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（議案第31号）

災害弔慰金の支給対象者となる遺族の範囲は、従来、配偶者、子、父母、孫又は祖父母と規定されていたが、今回の改正で、遺族の範囲に死亡者の死亡当時における兄弟姉妹を加えるもの。問：災害で死亡した者の妻と兄弟が災害弔慰金の支給申請をした場合はどうなるのか。答：死亡者の遺族の優先順位は、第1位が配偶者次に子、父母、孫又は祖父母の順序となっている。今回の改正で、配偶者から祖父母までいずれもない場合に兄弟姉妹の請求が可能となった。

損害賠償の額を定め和解することについて（議案第40号）

平成6年に市有地を払い下げの際、境界を誤認し売買地積の算定を行ったため、相手方に損害を与えたもので、291万円余を損害賠償金として支払うもの。

問：売買するときに、詳しく調査しなかったのか。人為的ミスではないのか。

答：通常、測量図がなければ測量した上で売買するが、県保有の測量図があったため、測量図の座標を利用し面積算定した。その際人為的ミスで境界線を誤って算定してしまい、このような結果になった。市民の皆様にお詫びします。

保健福祉常任委員会報告

保健福祉常任委員会は、9月13日に開催され、付託を受けた執行部提出議案5件（分割付託1件を含む）の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

保育環境改善等事業補助金の増額について（議案第34号）

認可外保育施設むつみ園の認可保育所移行に伴う改修について、県の保育対策等促進事業費補助金を活用し、トイレ増設、医務室設置、防火ガラス設置等

の改修費に補助金を交付するため700万円を補正するもの。問：改修費を補助することになった経緯について。

答：むつみ園には85名の市内の園児があり、閉園することになれば、市内の他の11園へ分散しても受け入れ難く、待機児童をつくらぬ本市の方針のもと、認可保育所の条件をクリアするための施設改修について支援していくことになった。

成人保健費の増額について（議案第34号）

働く世代の大腸がん検診の受診率向上に向けた国の新規事業として、40歳から60歳までの5歳ごとに、無料で受診できるクーポン券などを配布し受診勧奨を行うもので、373万9千円を補正するもの。

問：大腸がん検診を推進することになった背景や経緯について。答：検診受診率を高めていこうという国の基本的考えがある中、欧米に比べ受診率が大変低いのので、特に効果が高い大腸がん検診を推進することになった。

都市経済常任委員会報告

都市経済常任委員会は、9月

14日に開催され、付託を受けた執行部提出議案4件（分割付託1件を含む）の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

小郡市都市計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について（議案第32号）

審議会の透明性、公平性を拡充するため、新たに公募による市民2人を委員に加え、市議会議員の委員定数5人を3人に改めるもの。

問：公募による委員の選考基準について。

答：小論文と併せて志望動機も選考基準とする。また、女性の視点を取り入れた幅広いまちづくりが必要であり、女性委員を増やしたい。

交通安全施設等整備事業の増額について（議案第34号）

西鉄小郡駅のエレベータ横に、身障者用の車寄せを設置するための工事費270万円を補正するもの。

問：具体的な整備内容について。答：エレベータ横の西鉄敷地内に5メートル程の車寄せを1台分確保するもので、今年度中に供用開始予定。